

社会福祉法人 わかめ福祉会立 那覇市認定こども園 さつきこども園

第三者評価結果報告書

【 開園 4 年目 第 2 回目受審 】

① さつきこども園の情報

名称： さつきこども園	種別： 那覇市公私連携認定こども園		
代表者氏名： 饒平名 志子 園長 又吉 裕子 副園長	定員（利用人数）： 110 （ 105 ）人		
所在地： 那覇市宇栄原1丁目12番1号			
TEL (098) 996-4333	ホ ム ペ ー ジ : <a href="http://www.wakame.org/institution/index.php?InstNo=10">http://www.wakame.org/institution/index.php?InstNo=10</a>		
【認定こども園の概要】			
開園年月日： 2016年（平成28年）4月1日			
経営法人・設置主体（法人名）： 社会福祉法人 わかめ福祉会			
職員数	常勤職員： 17 名	非常勤職員：	なし
職 員	園長 1 名	主幹保育教諭	1 名
	副園長 1 名	保育教諭	11 名
	事務員 1 名	その他	2 名
設備等の概要	園舎 465㎡ R（鉄筋コンクリート）造2F 【 小学校敷地内 】 幼児教育・保育室（3～5歳児 各58㎡×4室）・遊戯室152㎡・職員室 職員更衣室、 屋外遊戯場（園庭）		
建築年月（築年数）	2000年（平成12年4月）【 築19年 】 ★ 2017年3月 1教室増築・トイレ改修		
移管前(2015年4/1) 児童人数	47人（2クラス 5歳児 47人）		
現在（2019年4/1）の児童人数	104人（4クラス 5歳児 2クラス54人 4歳児1クラス30人 3歳児1クラス20人）		

ご利用状況（2019年12月1日現在）

利用人数	5 歳	4 歳	3 歳	合 計
1 号	21人	10人	6人	37人
2 号	34人	20人	14人	68人
合 計	55人	30人	20人	105人

定 員	5 歳	4 歳	3 歳	合 計
1・2号計	60人	30人	20人	110人

## ② 評価を実施した第三者評価機関名

名 称	(株) 第三者評価 <a href="http://daisansha.lolipop.jp/kindergarten.html">http://daisansha.lolipop.jp/kindergarten.html</a>
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
訪問調査日	訪問調査日 2019年12月3日(火)
評価調査者 2名	リーダ I・II・III章担当 吉山 浩 (兵庫県・大阪府・全社協研修受講) IV章担当 江木 朋子 (兵庫県・大阪府研修受講)
保護者アンケート実施	2019年9月 回収率 94.2% (回収 98 / 配付 104)
評価結果確定日	2019年12月13日(金)

## ③ 教育・保育目標、めざす園児像

### 教育・保育目標

- 「 返事や挨拶ができる元気な子 」
- 「 めあてに向かってがんばる子 」
- 「 友だちやいきものに優しい子 」

### 教育・保育方針

- 「 心豊かで自ら進んで生活の出来る子 」
- 「 心の力 体の力 学ぶ力 」
- 「 動いて 食べて よく寝よう 」

④ さつきこども園の特色ある幼児教育・保育活動

<p>1</p>	<p><b>○ 「食べて・動いて・よく寝よう」「早寝・早起き・朝ごはん」の推進</b></p> <p>初年度より継続して、毎朝8時15分から小学校の運動場でかけっこを行っている。体力向上、規則正しい生活リズムの習慣の確立、小学校に親しみを持つ等の点で保護者からも評価が高い。</p> <p>また、朝一番に体を動かすことで脳が活性化され、その後の活動に落ち着いて取り組むことができる。保育教諭の話を中心して聴くことができる等の効果もある。さらに身体を動かすことで食欲も増進され、「食が細かった子が食べる量が増えた」「病気に罹りにくくなった」との声も多く、健康な体作りに役立っている。</p>
<p>2</p>	<p><b>○ 安心・安全でおいしい給食とおやつ</b></p> <p>給食とおやつは嘱託栄養士が立てた献立を、近くの姉妹園の厨房で調理し、担当職員が専用の食缶と配送車で運んでいる。毎日の給食のメニューは展示食を玄関前に置き、降園時に保護者が見られるようにしている。毎月配布している献立表・給食だよりとともに、実際の給食の内容も見ることができ、子どもとの会話のきっかけにもなると好評である。給食だよりでは、食育についてのいろいろな情報提供や、子どもに人気のメニューの作り方も紹介している。また、近年は食物アレルギーを持っている子どもも多く、本園でも医師の指示書に従ったアレルギー対応食を提供している。</p> <p>今年はケータリング業者の異物混入で食の安全性が問題になったが、自園調理は、食材へのこだわり（できるだけ地産地消・国内産の使用を心がける）栄養士・調理員の顔が見える。等の点でも安心感があると思える。今後も、安心・安全な食の提供ができるように努めたい。</p>
<p>3</p>	<p><b>○ 自然に恵まれた環境を活かした教育・保育</b></p> <p>自然豊かな環境で園庭には季節を感じられる木々があり、桜、月桃（ムーチーづくりにも利用）、たくさんの蝉がやってくるセンダンの木、松ぼっくりが落ちる松の木などがあり、子供たちの良い教材にもなっている。また砂場の隣には泥んこ遊びができる場所や色水遊びで使える草花もたくさんあり、夏場は砂・水・泥遊びが盛んに行われている。園内の畑では、季節の花（ヒマワリ・コスモス）や、各クラスで話し合っただけ決めた季節の野菜（ナス・オクラ・ピーマン・ゴーヤー・へちま・じゃがいも・さつまいも）などを栽培し、観察記録をつけたり、収穫した野菜でクッキングを行ったり、造形遊びに利用したり幅広く活用している。オオゴマダラの蝶々園には、現在、卵・幼虫と12頭の蝶がおり、中に入って蝶々と触れ合ったり、卵や幼虫の観察をすることができ、園児の情操教育に役立っている。</p>
<p>4</p>	<p><b>○ 小学校との連携</b></p> <p>小学校に隣接している利点を生かし、年間計画を立て定期的に交流を行っている。(1年生の授業参観・合同避難訓練(年2回)・終業式・5年生との給食交流会・1年生によるお招き会等への参加や終業式・運動会・学習発表会の見学)等。また、小学校教諭の保育参観も行い、毎月1回はこ小連絡会(校長・教頭・園長・主幹教諭)を持ち意見交換や情報交換を行い、小学校へのスムーズな接続を考慮した取り組みを行っている。3歳児から「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を意識しながら教育・保育に取り組んでいるが、5歳児はアプローチカリキュラム(こども園)スタートカリキュラム(小学校)も作成し、連携を強化している。</p>
<p>5</p>	<p><b>○ 保護者のニーズに対応した教育・保育の充実と、職員の研修</b></p> <p>3年保育・延長保育(早朝・夕方)の実施・一時預かり保育(1号認定児の午後の保育や春休み、夏休み、秋休み、冬休み期間の保育)・土曜保育・子育て支援(園庭解放や子育て相談・子育て応援デー等)は定着し、特に3歳児は昨年、今年ともに抽選になっている。特別な支援を要とする子の教育・保育は特別支援コーディネーターを配置し、関係機関とも連携を取りながら取り組んでいる。姉妹園との交流も行い、土曜日の交流保育や合同競技大会等の開催、散歩や遠足時の訪問などを年に数回行っている。</p> <p>保育教諭は全員、幼稚園教諭免許・保育士資格・小学校教員免許等を所持しているが、さらなる質の向上をめざし園外研修への積極的な参加、月1回の園内研修に加え、福祉会合同で外部講師を招いての階層別研修や、全職員参加での全体研修も行い学びを深めている。</p>

## ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年6月20日（契約日）～ 令和元年12月13日（評価結果確定日）
受審回数	2回目（前回の第1回 2017年度受審）

## ⑥ 総評

### ◇ 特に評価の高い点

- (1) 2年前の第三者評価時同様、保護者アンケートでの極めて高い満足度、法人の園は、2020年4月には那覇市以外での運営も含め10園にまで拡張されますが、開園後4年間、園長・副園長・主幹保育教諭のトップ3に人事異動は無く固定した管理職を維持し、外部の専門家の税理士・公認会計士・社労士・経営コンサルタントによりガバナンスのチェックや組織力の強化を依頼し、教育・保育に通じた外部講師を招聘した研修を実施する等 職員研修の場を多く設定しています。その取り組み等を通じて、時代の最先端に居る幼保連携型認定こども園（子どもが会う最初の学校）、保育教諭として、社会の変化に最も敏感な人になろうと、スキル・知恵、感性をより一層磨こうと真摯に努力されています。
- (2) 『那覇市子ども子育て支援事業計画』に沿う待機児童0（ゼロ）に向け、移管後 約2.2倍増の園児受け入れ、3、4歳児受け入れによる教育的効果の高い複数年保育の実施、4、5歳児の35人学級から30人学級への変更によるきめ細かな幼児教育・保育の実現、早朝受入、土曜保育、4月1日受入実施（春季休業期間中の保育）、地域の子育て家庭に対する支援、関連園での調理による給食の提供等 を実施されています。
- (3) 「心豊かで自ら生活のできる子」の育成という当園の教育・保育方針、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に則って作成された「全体的な計画」は、子ども一人ひとりの人権と自主性を尊重し健やかに育む教育・保育を具体的に実践するために、様々な領域にわたりきめ細かく作成されていました。職員は、教育・保育内容の更なる質の向上を目指して、充実した研修を受講し研鑽を重ね、一丸となって取り組んでいます。
- (4) 小学校と隣接していることを有効に活用して、年間計画を立て緊密な連携体制が構築されています。職員間のみならず、幼児と児童の交流や保護者参加研修会の取組も充実しており、就学に向けて段差を滑らかにするアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムが丁寧に作成され、有効に活用されていました。
- (5) 月桃やセンダン等の多くの木々や、菜園、花壇、そしてオオゴマダラの蝶々園等、生き物を育む魅力ある恵まれた園庭の自然環境を有効に活用して、食育や体力づくり、環境認識につながる観察コーナーを設置する等、保育内容の充実に繋げる工夫が随所に見られました。子どもが主体的に自ら遊びを選択して継続して十分に遊びこめる時間・空間・物の環境を保育室、園庭にちりばめられるように工夫を重ねており、人的環境である保育教諭は、穏やかで受容的であり、子どもとの信頼関係を基盤として、適切に遊びの援助ができるように関わっていました。また、「食べて・動いて・よく寝よう」「早寝・早起き・朝ごはん」という育ちへの願いを日々の教育・保育で丁寧に実践していました。

▼ 改善を求められる点（b 評価となった項目は ありません）

△ 推奨事項 3件（以下の点に、まだ進化の余地があるとお考え下さい）

- 1) 評価基準 17番 II-2- (3) -① 各人の目標管理の仕組みに関し、簡単でより分かりやすい仕組みへの進化を期待します。

- 2) 評価基準 18番 II-2- (3) -② 「園内年間研修計画」で個別の研修における「ねらい」はありますが、年間を俯瞰してのねらいや、研修体系と連動したその年度計画の意図やキャリア形成の道筋を感じられるものの方が良いように感じました。
- 3) 食の異物混入対策は、ケータリング業者・自園調理でも、子ども・保護者から見て、あつてはならない事だと思えます。今取り組んでいる事柄を見える化して、『異物混入対策マニュアル』を他園に先駆け、作成致しましょう。

### ⑦ 第三者評価結果に対する さつきこども園のコメント

この度、2回目の受審を致しましたが、1回目に続き保護者アンケートの回収率、及び評価が高かった点は、大変ありがたく感じました。ただ前回に比べて、保育目標の認知度が下がっていたことは私たちの努力不足だと反省しております。

また、今回の受審を通し、各種マニュアルの充実並びに様々な園内の仕組みづくりを、第三者が見てもわかりやすくする工夫が、さらに必要だと痛感いたしました。組織が大きくなるとそれに伴い責任も求められます。

「法令遵守」と、園内においては仕組みを「見える化」し、職員一人一人に、いかに「当事者意識」を持たせていくかということが、今後の園のさらなる発展につながっていくと思われました。

2020年には教育改革も行われます。教育・保育の現場も変化していく中、保育教諭自身が「考える力」を持たなければ子ども達に「考える力」は育ちません。保育教諭不足の中ですが、質の担保を図るためにも、園内外の研修の充実も努力していきたいと存じます。型通りの評価ではなく、現場の職員が前向きに、自ら考え改善していく仕組みを作っていけるように、助言・教育しながら導いて頂いた評価者の皆様に深く感謝申し上げます。

★ 訪問調査当日 12/3 (火) の様子は、園のHPでも公開されています

「2回目 第三者評価を受審しました」

<http://www.wakame.org/gallery/index.php?ID=1942>

## 評価細目の第三者評価結果

各項目右端の評価結果欄 a、b、c のレベル（到達度）について

- |   |              |            |
|---|--------------|------------|
| a | 全ての項目を満たす    | 目標となる高いレベル |
| b | 1つ以上の項目を満たす  | 標準的レベル     |
| c | いずれの項目も満たさない | 改善が必要なレベル  |

◎ 2度目の受審の為、きびしめの評価を実施しています

### 評価対象 I 基本方針と組織

I-1 教育・保育方針・目標	第三者評価結果							
I-1-(1) 教育・保育方針・目標が確立・周知されている。								
1 I-1-(1)-① 教育・保育方針・目標が明文化され周知が図られている。	a・b・c							
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>教育・保育方針・目標は、「園案内」・「園だより」・ホームページ等に掲載し周知しています。教諭には、行動規範となるよう、「教育・保育計画書」や「指導計画」に反映させ周知しています。保護者には、「園案内」・「園だより」に掲載し、入園説明会・保護者総会・懇談会で、丁寧に説明しています。また、玄関や各クラスに掲示しています。</p> <p>訪問調査12/3（火）の際に、教諭の脳裏に方針・目標が刻み込まれているか筆記テストを行い、確認しました。</p>								
<h3>アウトカム（outcome）評価 &lt; 園の取組み結果・方法に対する評価 &gt;</h3>								
<p>評価基準1番 I-1-(1)-① ⑤ 理念や方針が保護者等への周知が図られている。</p> <p style="text-align: center;">⑥ 理念や方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>								
<p>2019年9月実施 保護者アンケート結果より（総数 104 世帯） <b>回収率 98/104= 94.2%</b></p>								
<p>設問1 こども園の 理念・方針をご存じですか？</p>								
<p>回答 ⑤よく知っている 21 (21.4%) ④まあ知っている 55 (56.1%) ③どちらともいえない 11 (11.2%)                  ②あまり知らない 10 (10.2%) ①まったく知らない 1 (1.0%) ①未記入 0 (0%)</p>								
年齢	クラス	⑤	④	③	②	①	①	計
3歳	ほし組	6	10	3	1	0	0	20
4歳	にじ組	2	21	4	2	1	0	30
5歳	あおぞら組	8	6	4	5	0	0	23

そよかぜ組	5	18	0	2	0	0	25
合計	21	55	11	10	1	0	98

⑤よく知っている 21 (21.4%) + ④まあ知っている 55 (56.1%) = **合わせて 76 (77.4%)**

\* **保護者の認識度は、比較的高いが、もう少し上げたい。(前回2018年1月より、若干減)**

②あまり知らない 10 (10.2%) ①まったく知らない 1 (1.0%) を少し改善したい

**参考) 前回の2018年1月実施の保護者アンケート結果** (総数96世帯) 回収91/配布96= 回収率 **94.8%**

⑤ よく知っている 20 (22.0%) + ④ まあ知っている 58 (63.7%)

= **合わせて 78 (85.7%)** . . . **高い認識度となっていました**

**今後の取り組み方の一例**

AA 想定する周知状況になっているか? BB どの程度の周知状況が目標なのか?

毎年、『理念』や『方針』の保護者への周知状況を保護者アンケート等で確認し、取り組み方法の妥当性を確認すると共に、**⑤よく知っている + ④まあ知っている** で合わせて 何%程度を目標値とするのか園内で議論され、数値による目標管理も合わせてご検討下さい。【 数値目標があると知恵が深まります 】

I-2 経営状況の把握		第三者評価結果												
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。														
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c												
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c												
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>『那覇市子ども・子育て支援事業計画(平成27年～31年)』(平成30年2月改訂)、『那覇市立幼稚園の今後のあり方について(平成27年7月)』を参考にし、法人園長会議(月1～2回)、那覇市認定こども園園長会(月1回)にて、市の福祉計画や、校区の未就園児童情報や見学者、利用者の声からニーズ等を把握しています。 経営課題については、経営コンサルタントを招き、勉強会を行い、具体的な取り組みを実施しています。</p> <p>&lt; 待機児童人数の多い上位10 地方自治体 &gt; 2019年4月1日現在 内閣府資料より</p> <table border="0"> <tr> <td>1 東京都 世田谷区 470人</td> <td>2 兵庫県 明石市 412人</td> <td>3 埼玉県 さいたま市 393人</td> </tr> <tr> <td>4 岡山県 岡山市 353人</td> <td>5 兵庫県 西宮市 253人</td> <td>⑥ 沖縄県 那覇市 250人</td> </tr> <tr> <td>7 兵庫県 神戸市 217人</td> <td>8 鹿児島県 鹿児島市 209人</td> <td>9 沖縄県 南風原町 208人</td> </tr> <tr> <td>10 沖縄県 沖縄市 198人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			1 東京都 世田谷区 470人	2 兵庫県 明石市 412人	3 埼玉県 さいたま市 393人	4 岡山県 岡山市 353人	5 兵庫県 西宮市 253人	⑥ 沖縄県 那覇市 250人	7 兵庫県 神戸市 217人	8 鹿児島県 鹿児島市 209人	9 沖縄県 南風原町 208人	10 沖縄県 沖縄市 198人		
1 東京都 世田谷区 470人	2 兵庫県 明石市 412人	3 埼玉県 さいたま市 393人												
4 岡山県 岡山市 353人	5 兵庫県 西宮市 253人	⑥ 沖縄県 那覇市 250人												
7 兵庫県 神戸市 217人	8 鹿児島県 鹿児島市 209人	9 沖縄県 南風原町 208人												
10 沖縄県 沖縄市 198人														

I-3 事業計画の策定		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、教諭が理解している。	Ⓐ・b・c
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「中長期5カ年計画（平成31年度～令和5年度）」（2019年4月1日作成）や「年度事業計画」を策定し、職員会議等で教諭に周知しています。法人の園長会・幹部会議にて内容を吟味し、期毎の進捗状況を追うことで、PDCAのCチェック機能を働かせています。進捗状況は、「事業報告書」に記載し、その振り返りを基に「次年度の事業計画」を策定しています。「中長期5カ年計画」や「年度事業計画」の要旨を、「入園のしおり」に記載し、保護者説明会、クラス懇談会等で説明しています。</p> <p>【 中長期5カ年計画の主な内容 】</p> <p>31年度（R1）実施 …… 玄関前の掲示板設置、網戸設置、照明器具のLED化、タイヤの跳び箱設置、園庭固定遊具の錆止め・塗装、日よけ設置、砂場の砂補充、災害備蓄品充実、人材確保（求人誌掲載、お仕事説明会、バスツアー、養成校・専門学校訪問）蝶々園（オオゴマダラ・日本最大の蝶）の維持、第三者評価受審（2回目）等</p> <p>R2年度 実施予定 …… 遊戯室のドア取換、扇風機の取り換え、農具倉庫の買い替え、室内遊具充実、園庭固定遊具取換、テント購入、業務のICT化、外部講師を招聘しての階層別研修人材確保（求人誌掲載、お仕事説明会、バスツアー、養成校・専門学校訪問）等</p> <p>R3年度 実施予定 …… 屋根防水、屋外遊具の充実、電気の取り換え、側溝のどぶさらい 等</p> <p>R4年度 実施予定 …… 廊下のサッシ設置、専任講師の設置、緑のカーテン、週休2日制の導入 等</p> <p>R5年度 実施予定 …… 外壁塗装、屋上屋根断熱塗装、固定遊具の見直し、室内外の遊具の充実 等</p>		

I-4 教育・保育の質の向上への組織的・計画的な取組		第三者評価結果
I-4-(1) 教育・保育の質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 教育・保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 幼児教育・保育の質の向上に向けた取組として、組織的・計画的な毎年の園の運営管理に関する自己評価を行い、その自己評価結果の園内での閲覧が可能な体制としています。 今年令和元年度（4年目）は、市との協定に基づく、2度目の第三者評価を実施し、その結果を前回同様、園のHPによる公開を予定しています。</p> <p>(2) 第一者評価（自己評価）、第二者評価（子ども、保護者による評価）、第三者評価への取組み時の気づいた事や、職員間でアサーション（assertion: 自分の意見を相手の立場を尊重しながらもしっかり伝えるコミュニケーション）し、園内の課題を見える化した「改善計画書」を作成し、職員が共通認識や当事者意識が持てるようにし、優先順位を付け担当者を指名、DEADLINE（達成期限）を意識させ、改善を行っています。</p>		

★ 2019年度「改善計画書」の主な内容・・・ 真摯に取り組もうとされています。お楽しみに！！

**1) マニュアルに関して**

- ①異物混入対応マニュアルの作成
- ②アレルギー食の「調理・配膳の手順」作成
- ③パワーハラスメント防止規定の作成

**2) 絵本備品**

- ①保護者アンケートの中でも指摘があったので計画的に新しい絵本を購入する
- ②この機会に古い絵本を見なおす
- ③遊戯室専用の（曲の編集が出来る）ラジカセを購入する

**3) 保護者の声から**

- ①入園説明会の資料がわかりにくいとの指摘があったので、2月の次年度説明会までに、再度見直し改善する
- ②保育教諭ともっとコミュニケーションが取れたらいいとの声があったので、登降園時に話しかけたり子どもの様子を伝える回数を増やす
- ③路駐対策として登降園時は駐車禁止のポールを設置する（危険と思われる3か所に設置）

**4) 園庭**

- ①鉄棒の下のマットを人工芝に変えたところ、風に飛ばされずに安定しているので雲梯の下のマットも人工芝に変える
- ②滑り台の下やブランコの下に水がたまるので土を入れ平坦にする

**5) 保育**

- ①年齢にあった室内遊びの内容を検討する
- ②お正月遊びや冬の遊びに使用する玩具の確認と補修
- ③教育・保育教育要領についての園内研修を充実させる

さらに、進化できる“チャンス到来”と思われたら良いと思います。  
ねらい通り、やりきって「真実の瞬間」を体感してみましょう。

評価対象 II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 教育・保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 園長は、自らの役割と責任を『運営規定』や「園務分掌表」に明記し、職員会議等の場で、教諭に対して説明し、理解を促しています。また、保護者に対しては、保護者説明会・クラス懇談会等で説明しています。</p> <p>(2) 法人よりコンプライアンス（法令遵守）を厳命されており、園長は「遵守すべき法令一覧表」を作成し、職員会議等で各人の仕事と結びつけて指導を行っています。 （どんな法令の基、その業務では何が必須なのか、してはいけない事は何か）</p> <p>(3) 訪問調査12/3の際に、教諭の脳裏に関係法令が刻み込まれているか筆記テストを行い、確認しました。</p> <p>保育教諭が回答した関係法令の一部抜粋：</p> <p>①子ども・子育て支援法 ②認定こども園法 ③学校教育法 ④児童福祉法 ⑤社会福祉法 ⑥個人情報保護法 ⑦労働安全衛生法 ⑧消防法 ⑨児童虐待の防止等に関する法律 ⑩食品衛生法 ⑪フロン排出抑制法 ⑫労働施策総合推進法（パワーハラスメント対策法制化 公布2019/6/5 施行2020年6月1日予定）等</p> <p>パワーハラスメント対策法の対象は、当分の間 大企業のみです。 （同法人は、対象と考え、対策を強化されるようで、準備を進めておられました） 厚生労働省 あかるい職場応援団HP <a href="https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/">https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/</a></p> <p>〔 中小企業基本法による中小企業の定義 業種分類別 〕 サービス業 資本金の額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人 製造業その他 資本金の額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人</p> <p>(4) 園長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために、運営状況を確認しながら、職員数、労働時間、人件費の比率を勘案しながら分析しています。相談窓口を設け、気兼ねなく仕事出来るように配慮し、子どもの人数やスキルに合わせて人員配置を行っています。 また、福祉会で「みんな仲良く定年まで」というスローガンを掲げ、子育て中の教諭は希望に合わせた勤務時間の調整等、働きやすい環境作りを試行錯誤し取り組んでいます。30年度より、新たに副園長のポストも置き、園長、主幹保育教諭の3役できめ細かな話し合いをしています。</p> <p>「みんな仲良く定年まで」というスローガンを実現するためにも、これからも、良い組織に致しましょう。</p> <p>良い組織を創れば ⇒ 良い人材が集まり、定年まで勤務 ⇒ 質の高い教育・保育を持続的に提供出来る</p>		

II-2 人材の確保・育成		第三者評価結果
II-2-(1) 人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されて	Ⓐ・b・c

	いる。	
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㊤・b・c
	II-2-(2) 教諭の就業状況に配慮がなされている。	
16	II-2-(2)-① 教諭の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㊤・b・c
	II-2-(3) 教諭の質の向上に向けた体制が確立されている。	
17	II-2-(3)-① 教諭一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㊤・b・c
18	II-2-(3)-② 教諭の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㊤・b・c
19	II-2-(3)-③ 教諭一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㊤・b・c
	II-2-(4) 実習生等の教育・保育に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
20	II-2-(4)-① 実習生等の教育・保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㊤・b・c

<コメント>

- (1) 「キャリアパス」に、「期待する職員像等」を明示し、運営会議で必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方を確認し、育成に関する事は『職員マニュアル』に記載し、各職員の目標管理の仕組みは、自己評価の中で行っています。  
 ただ、各人の目標管理の仕組みに関しては、簡単でより分かりやすい仕組みへの進化を期待します。  
 目標を持って業務に励む職員 or ただひたすら業務に励む職員 どちらがより成長するか？
- (2) 人事評価基準を、『就業規則』に定め、保育教諭全員に周知し、人事考課制度で、年に1回職務に関する成果や貢献度を評価しています。内閣府の経営実態調査や他施設の「求人票」も参考に、処遇水準の妥当性を確認しています。
- (3) 働きやすい職場を目指して、育児休業、短時間労働のシステム、時間外労働の削減に取り組んでいます。
- (4) 労働安全衛生法にて、2015年より50人以上の従業員がいる職場で実施が義務化された（同園の職員人数は、50人に達しておらず、義務化の対象ではないが）ストレス・チェックを年に1回の健康診断の際に、N社のアンケートを活用し実施しています。
- (5) 公布2019/6/5 施行2020年6月1日予定のパワーハラスメント対策法制化（労働施策総合推進法）に備え、今後、国から提示される「指針」の動向を見守りながら、社会福祉法人では、おそらく、初めてとなる下記の内容を盛り込んだ『パワーハラスメントの防止規定』を作成される予定と伺いました。
1. 雇用契約書、就業規則への明記  
 就業規則に「セクハラ・パワハラの禁止」の条文を明記し雇用契約書や誓約書で職員に確認・同意を得る。
  2. 相談窓口の周知  
 パワハラ等の被害を受けた職員が直接相談・通報できる体制の整備をする。通常の窓口は、主任保育士や主幹保育教諭、園長であるが、それ以外の相談窓口として、理事長や顧問弁護士・社労士まで相談できるよう職員に連絡先を周知する。
  3. 内部監査体制や定期的なアンケート  
 各園での自主点検表の記入・アンケート調査、ヒアリングを行い、当事者以外の職員からの情報も得られるようにし、早期の発見、相談、解決を促す。
  4. 職員研修での教育  
 セクハラ・パワハラ防止のために、定期的に園内研修を実施する。その際は、管理職向けと一般職員向けに分けて行い、それぞれの立場・目線に応じた内容にする。
  5. アサーション能力の向上を図る  
 パワハラや職員や子どもを含めた不適切な行為を防ぐ手立てとして、相手の立場や意見を尊重しながら、

自分の考えを主張するコミュニケーション方法「アサーショントレーニング」の研修を行い、防止につなげる。

(5) 教諭の教育・研修に向けた取組は、各研修のねらいを明確にした「年間研修計画」を作成し、個々の職員が必要としている研修を受講したり、保育者同士の学び合いや園内研修の充実を図っています。

ただ、年間を俯瞰しての研修の目的やねらい、研修体系と連動したその年度計画の意図やキャリア形成の道筋を感じられるものの方が良いように感じました。

(6) 実習生等への指導・育成の体制は、『実習・ボランティア受け入れマニュアル』に沿って、積極的な取組を行っています。事前に学校側の担当教諭との打ち合わせを行い、『実習生プログラム』を作成し、事前オリエンテーションを行い、実習期間中も実習指導者が毎日の振り返りを行っています。

【 直近3カ年実習生受け入れ実績 】 2019年度 2人、 2018年度 6人、 2017年度 4人

Ⅱ-3 運営の透明性の確保		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ⓐ・b・c
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 運営の透明性を確保するための情報公開は、法人・園のホームページ、「園だより」で行っています。苦情解決の現状報告についても、毎月、ホームページにて個人情報に関するものや申込者が拒否した場合を除き、公表し改善に務められています。</p> <p>【 園のHPや WAMNET 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムによる情報公開の状況 】</p> <p>① 貸借対照表、② 収支計算書、③ 現況報告書、④ 役員区分ごとの報酬総額、⑤ 定款 ⑥ 役員報酬総額 公開されている事を確認しました。</p> <p>WAMNET 社会福祉法人の財務諸表等、電子開示システム <a href="http://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0200000E00.do">http://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0200000E00.do</a></p> <p>(2) 事務・経理・取引に関することは法人本部がルールを定め、園できっちり実施しています。経理面では税理士の訪問指導を毎月受けたり、法人内部監査、監事監査を受けています。また、平成29年度より、毎年、K公認会計士事務所による外部監査も受け（令和元年6月4日）、前年30年度には社労士による勉強会も行っていました。</p> <p>備考) 外部監査について 会計監査人の設置義務法人の範囲について (厚生労働省 平成28年10月21日付け 第5回社会福祉法人の財務規律の向上に係る検討会より抜粋)</p> <p>* 同法人は、収益20億円は超えていませんが、自主的に公認会計士による外部監査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度、平成30年度は、収益30億円を超える法人又は負債60億円を超える法人</li> <li>令和元年度、令和2年度は、収益20億円を超える法人又は負債40億円を超える法人</li> <li>令和3年度以降は、収益10億円を超える法人又は負債20億円を超える法人と段階的に対象範囲を拡大。</li> </ul>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子ども・保護者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	㊤・b・c
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	㊤・b・c
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① こども園として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 門扉と玄関に掲示場所を設け、社会資源や地域の情報を掲示したり、チラシや冊子を保護者が自由に手に取れるところに置いています。地域の自治会館で行われる一人暮らしのお年寄りとの“ふれあい昼食会”へ園児が参加し、交流を図っています。</p> <p>(2) 『ボランティアマニュアル』に沿って、中学生の職場体験を受け入れています。 中学生のお兄ちゃん・お姉ちゃん保育教諭の卵は、園児から慕われ、貴重な戦力ともなっています。生徒は、職場体験で、仕事に取り組む達成感や生きがいや、喜びを覚え、将来の夢や目標を描く事が出来ます。生徒が赴く職場として、こども園は、良いなあと感じました。</p> <p>【 直近2カ年 職場体験受け入れ実績 】</p> <p>2019年度 2 人、 2018年度 2 人</p> <p>【 直近2カ年 ボランティア受け入れ実績 】 (畑を耕したり、樹木を伐採したり)</p> <p>2019年度 2 人、 2018年度 3 人</p> <p>(3) 地域のつながりが深く、登園時、見守りの立哨をして下さる方々等に、11月23日(土)勤労感謝の日、ありがとうございますの気持ちを込めてプレゼントを渡しています。(*^*)これからも宜しくお願いします(^o^)</p> <p><a href="http://www.wakame.org/gallery/index.php?ID=1925">http://www.wakame.org/gallery/index.php?ID=1925</a></p> <p>(4) 地域の子育て家庭に対する支援を行う施設と認識し、子育て世帯に月曜日から土曜日まで園庭開放、毎週火曜日に子育て応援デーを実施し、園児と未就園児の交流・保育体験を行っています。</p>		

### 評価対象 Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
26	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した教育・保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
27	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した教育・保育が行われている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
28	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して園選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
29	Ⅲ-1-(2)-② 教育・保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
30	Ⅲ-1-(2)-③ 園等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 法人理念・目標や、各種のマニュアルや「教育・保育計画」で子どもを尊重する教育・保育の姿勢を明確にし、園内研修で共通理解を図り、援助方法の評価を行って、振り返りを実施しています。</p> <p>(2) 『運営規定』、『プライバシー保護マニュアル』、『虐待防止マニュアル』、「不適切な事案の対応」（改訂 令和元年4月1日）等を整備し、職員に周知徹底している事を「研修実施記録（2019.4.13）」にて確認しました。</p> <p>(3) 利用希望者への情報提供は、入園児に「入園のしおり」を配付したり、見学者に配付したり、ホームページの定期的な更新やブログにて子どもの様子を配信しています。園の見学者には、希望日を聞いて対応しています。9月実施の保護者アンケートで、入園説明会の資料が分かりにくいとの「声援メッセージ」があったので、2月の次年度説明会までに、再度見直し改善するとの意思表示がありました。お楽しみに！！</p>		

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス（利用者満足）		第三者評価結果																																			
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。																																					
31	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c																																			
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。																																					
32	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c																																			
33	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	Ⓐ・b・c																																			
34	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・b・c																																			
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 保育参観、運動会、発表会の行事毎や、学校評価アンケートを行い、保護者の意見を聞き取りしたり、4-5月、10-11月に個人面談を行ったり、日々の送迎時に、子どもや保護者の意向を把握しようと努めたり、玄関に「意見箱」を設置したりしています。</p> <p>(2) 今回、2019年9月に実施した50項目に及ぶ保護者アンケート結果は、94.2%の回収率（98件回収/104件配付）で、その内容は、前回同様、極めて高い保護者満足度となっていました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>クラス</th> <th>回収件数</th> <th>配付件数</th> <th>回収率 (%)</th> <th>総合満足度 (5点満点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳</td> <td>ほし組</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>100</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>4歳</td> <td>にじ組</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>100</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5歳</td> <td>あおぞら組</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>85.2</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>そよかぜ組</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>92.6</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td colspan="2">園平均</td> <td>98</td> <td>104</td> <td>94.2</td> <td>平均 4.8</td> </tr> </tbody> </table>			年齢	クラス	回収件数	配付件数	回収率 (%)	総合満足度 (5点満点)	3歳	ほし組	20	20	100	5.0	4歳	にじ組	30	30	100	4.9	5歳	あおぞら組	23	27	85.2	4.8	そよかぜ組	25	27	92.6	4.7	園平均		98	104	94.2	平均 4.8
年齢	クラス	回収件数	配付件数	回収率 (%)	総合満足度 (5点満点)																																
3歳	ほし組	20	20	100	5.0																																
4歳	にじ組	30	30	100	4.9																																
5歳	あおぞら組	23	27	85.2	4.8																																
	そよかぜ組	25	27	92.6	4.7																																
園平均		98	104	94.2	平均 4.8																																

★ ★ ★ 保護者が感じている “ さつきこども園 ” の魅力の一部抜粋 ★ ★ ★

- ① 朝のマラソンやかけっこ運動の時間が多くあり、子供も体が丈夫になりました。病気にしにくくなったと思います。
- ② 元気に返事や挨拶が出来るように対応、教育がなされている。
- ③ 体験（虫や、野菜を植えたり、花を植えたり）させてくれる環境。
- ④ 一人一人の個性や特徴をしっかりと受け入れて伸ばしてくれる。
- ⑤ 先生方もとても親しみやすく、話しかけやすい。
- ⑥ 畑などを通して作るということを子供達と一緒に考え実践して、経験を積ませてもらえていて家庭では学べないようなところにまで関わってくれていると思う。
- ⑦ 小学校生活に向け、スムーズに移行できるような教育をしている。
- ⑧ 給食やおやつ提供が安心。

★ 多くの日頃の感謝の言葉を頂きました。  
また、要望も若干頂き、園で精査を行い順次改善を実施していました。

参考) 2年前 2018年1月実施の保護者アンケート結果  
回収率 94.8 (%) (回収 91/配布 96) 総合満足度 (5点満点) 園平均 4.8

(3) 苦情解決の仕組みは、主幹保育教諭が苦情の受付を行い、園長が責任者となっています。第三者委員は、2名任命し、委員の連絡先の電話番号や職業を記載した「ご意見・ご要望の解決の仕組みについて」を園内掲示し、「しおり」にも記載し配付しています。  
より身近さを感じてもらえるよう、第三者委員の承諾を得て顔写真や似顔絵等を追記するよう検討中です。

<b>Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス (安心・安全)</b>	<b>第三者評価結果</b>
---------------------------------	----------------

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

35 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
--	-------

<コメント>

- (1) リスクの種類別(事故・怪我、感染症、衛生管理、自然災害、不審者対応)に責任・役割を明確にした管理体制があり、『マニュアル』に沿って、職員会議で話し合いを行って共通理解を図っています。
- (2) 「ヒヤリハット月間報告書」を作成し子どもや職員に注意喚起を促したり、『安全マニュアル』、「安全点検チェックリスト」に沿って点検を実施しています。また、小学校のプール使用時の注意事項を記載した『マニュアル』、及び 監視員、残留塩素濃度等を記載する記録様式を確認しました。
- (3) 不審者侵入対策用に、警察官の等身大防犯用ポスター 及び「警察官立寄所」管理看板が、門扉 及び 玄関に掲示されています。

36 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
---	-------

<コメント>

『保育所における感染症対策ガイドライン』(2018年度版)、「感染症集団発生時の対応」(令和元年5月13日改訂)に沿って対応出来るよう研修を実施したり、流行している感染症を保護者にお知らせしたりして、あらかじめ予防できるように話し合いを行っています。  
子ども達には、手洗い、うがい、顔洗い、あいうべ体操の徹底を行い、職員はマスク着用、排泄物・嘔吐物の処理方法を徹底して行っています。

37	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㊐・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>建物は、平成12年4月建築のRC造（鉄筋コンクリート構造）2F建てで、「S56年6月」以降の設計基準の為、震度5強程度の巨大地震には、耐震強度が十分にあると思われます。</p> <p>那覇市防災マップを確認し、海拔等地域の現状を把握し、飲料水・ビスケット、非常用ガスコンロ、懐中電灯を備蓄しています。</p> <p>また、毎月の避難訓練、年2回の小学校との合同避難訓練等を実施しています。</p> <p>【 地震・台風・大雨等の自然災害の脅威は、年々激化するとCOP25 国連気候変動枠組み条約締約国会議で予測されています。</p> <p>幼保連携型認定こども園のような子どもを守る学校関係者は、一般人より、自然災害に対する知識が多く必要とされます。このような備えで、正しく恐れる事が重要です 】</p>		

Ⅲ-2 教育・保育の質の確保		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する教育・保育の標準的な実施方法が確立している。		
38	Ⅲ-2-(1)-① 教育・保育について標準的な実施方法が文書化され教育・保育が提供されている。	㊐・b・c
39	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㊐・b・c
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより指導計画が策定されている。		
40	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㊐・b・c
41	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㊐・b・c
Ⅲ-2-(3) 教育・保育実施の記録が適切に行われている。		
42	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する教育・保育の実施状況の記録が適切に行われ、教諭間で共有化されている。	㊐・b・c
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㊐・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子どもの人権尊重、プライバシー保護の姿勢を基盤として、保育教諭の基本的な保育姿勢、送迎時の子ども・保護者対応、保護者連携・子育て支援等の標準的な実施方法が、『マニュアル』として作成されていました。また食育計画、体づくり等、様々な遊びを具体的に展開していくための各種年間計画がきめ細かく作成され、実践に繋げていました。これらの業務が標準化されて実施されていることを園長、副園長、主幹保育教諭が確認する仕組みがありました。</p> <p>(2) 各クラス担任が「指導計画」を作成し、副園長、主幹保育教諭が確認、評価、指導を行っています。食育、アレルギー、食事関係は法人の栄養士や調理師、保健・健康面に関しては嘱託医等と話し合いを持ち、全職員に周知して教育保育に反映しています。また、職員会議、週案会議等で反省、見直しをきめ細かく行っていました。支援を必要とする子どもについては、「個別支援計画」を作成、保護者からの確認を得て、連携しながら教育保育を実施しています。</p> <p>(3) 子ども一人ひとりの状況は、児童票、指導要録、指導計画等の各種書類に記録し、保育教諭間で共有する仕組みがあります。子どもの重要な個人情報が記載された「児童票」や「指導要録」等は、『個人情報保護規定』に沿って、紛失、破壊、改ざん 及び 漏洩防止対策がなされています。また、個人情報保護に関する職員教育が、4月13日に行われている事を記録で確認しました。</p>		

評価対象 IV 教育・保育の内容

IV-1 教育・保育の基本		第三者評価結果
IV-1-(1) 教育と保育の一体的展開		
44	IV-1-(1)-① 方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した教育・保育課程を編成している。	㊐・b・c
45	IV-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	対象外
46	IV-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	対象外
47	IV-1-(1)-④ 3歳以上児の教育・保育において教育と保育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、教育の内容や方法に配慮されている。	㊐・b・c
48	IV-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	㊐・b・c
IV-1-(2) 環境を通して行う教育・保育		
49	IV-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	㊐・b・c
50	IV-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	㊐・b・c
51	IV-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	㊐・b・c
52	IV-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	㊐・b・c
53	IV-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	㊐・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 「全体的な計画」は、全職員が参画して編成し、『幼保連携型認定こども園の教育・保育要領』に明記されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目を、各年齢の具体的なねらい・内容に組み入れていました。また、幼児期の子どもの体力向上、生活リズム習慣の確立の大切さを、理論的根拠を明確にして教育・保育に展開していくための計画を、きめ細かく作成していました。</p> <p>(2) 豊かな自然に囲まれた園庭には様々な樹木、草花、畑があり、小動物の飼育の様子を園内の随所で観察でき、学びの芽を育めるように配慮されていました。例えば、オオゴマダラの蝶々園を、保育室の窓から観察したり、中に入ってじっくりと観察できる館となるように設置する等、子どもたちがあらゆる命への愛情と思いやりを抱き、知的好奇心を持ち、感性豊かに伸びやかに育ちゆくことを願って環境構成を工夫していました。また全身を使って様々な身体活動ができるような遊具が配置されていました。</p> <p>(3) 小学校に隣接していることもあり、きめ細かな職員間の連絡会、相互参観、合同研修会の開催等、連携体制が充実していました。また園児の学校訪問、施設利用等の日常的な交流や活動を通して、就学に向けて滑らかな接続となるような取組が行われていました。認定こども園指導要録は、子どもの良さを第一にとらえて担任が作成し、園長が確認し提出していました。</p> <p>(4) 子どもが主体的に遊びこめる魅力ある室内の環境構成が工夫されていました。各保育室には、子どもの興味・関心をとらえ、様々な遊びを継続的に存分に取り組むことができるように、物、時間、空間が適切に準備されていました。また季節の自然物を観察し記録をつけたり図鑑で調べたり、行事で体験したことを、絵画・造形遊びやごっこ遊び、栽培、クッキング活動と様々な領域に渡った遊びに取り入れる等、工夫がみられました。</p> <p>(5) 基本的な生活習慣の自立に向けて、年齢発達に応じて修得していけるように、マニュアルにそって自分で</p>		

きることは自分でやろうとする心を育てるために、服のたたみ方を統一しわかりやすく写真掲示する等、一人ひとりの育ちに合わせて丁寧に援助をする工夫をしていました。当番活動では、それぞれの年齢にふさわしく子どもが自信をもって活動できるようにとの願いを込めて、園庭の草抜き、落ち葉掃き、水やり、食事の準備等の様々なお手伝い活動を日々の保育に取り入れていました。

- (6) 遊びを通して学ぶという視点を踏まえた上で、月刊誌やワーク帳を通して知的活動を行ったり、5歳児は外部講師の指導による月1回の「空手」指導を取り入れて礼儀作法などを学ぶ機会を設けていました。
- (7) 廊下、階段の壁面には、保護者への啓発に関するものや、子どもが不思議に気づき、何故？に答えていける内容のものなど、楽しく飽きずに学び考えることができるような掲示物が工夫して展示されていました。

IV-1 教育・保育の基本		第三者評価結果
IV-1-(3) 教諭の資質向上		
54	IV-1-(3)-① 教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育の改善が図られている。	㊤・b・c
<コメント> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自己評価表を取り入れ、保育教諭が主体的に教育・保育の振り返りを行い、園長、副園長、主幹保育教諭とヒアリングを行っていました。職員会議、週案会議ではきめ細かく日常の保育を点検、評価し、次につながるようなシステムを構築していました。</li> <li>(2) 研修体系はあらゆる分野にわたり充実しており系統立てて実施し、各職員が参加していました。月1回の園内研修では、一人ひとりの保育教諭が、子どもの遊びの様々な場面を写真に撮り、それぞれの姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目にそって分類し、どの育ちに繋がるのかを検討し理解を深め合う研修を取り入れる等、日々の教育保育実践に直結する内容の研修を積み重ねていました。また保護者啓発、理解を得るために研修実施内容を掲示していました。今後は、さらに子どもが遊びを通して学びを深めていけるような室内環境構成について、理論的根拠を構築し、必要な物、空間作りを充実するための研修を継続的に取り組んでいかれることを期待します。</li> </ul>		

IV-2 子どもの生活と発達		第三者評価結果
IV-2-(1) 生活と発達の連続性		
55	IV-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	㊤・b・c
56	IV-2-(1)-② 障がいのある子どもが安心して生活できる教育・保育環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる。	㊤・b・c
57	IV-2-(1)-③ 長時間にわたる教育・保育のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法が配慮されている。	㊤・b・c
<コメント> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの最善の利益を考慮し、一人ひとりの個別状況を把握して職員間で共通認識し理解を深めつつ、援助していくように研鑽していました。子どもへの言葉かけは、肯定的な言葉かけを心掛けて、日々互いに振り返る機会を持っていました。今後は、園内研修で事例に基づき、全職員で子どもへの関りについて振り返り高め合う等の研修手法を取り入れることで、さらなるスキルアップにつながることを期待されます。</li> <li>(2) 統合保育を通して、子ども同士が互いに育ちあう教育・保育を大切にしていました。支援の必要な子どもの個別計画を短期・長期ときめ細かく作成し、また月1回支援会議で報告・話し合いをしたり、園内外研修には積極的に参加するなど、職員が共通認識して統合保育に取り組む環境がありました。保護者とは緊密に連</li> </ul>		

携し、子どもの姿を伝えあい、丁寧に支援をしていました。

- (3) 長時間保育では異年齢での関りを大切にし、子ども一人ひとりの要求に応え、家庭的でゆったり落ち着いた環境の中で過ごせるように配慮し、延長保育児には軽食を提供していました。また、日々の活動については引継ぎ簿を活用して丁寧に情報共有が行われるようなシステムを構築していました。

IV-2 子どもの生活と発達		第三者評価結果
IV-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
58	IV-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	Ⓐ・b・c
59	IV-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	Ⓐ・b・c
60	IV-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	Ⓐ・b・c
61	IV-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や教諭に伝達し、それを教育・保育に反映させている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子ども全員の健康管理に関する書類は、入園児の記録に、年毎の健診結果、予防接種の状況などを追記し、保管していました。職員会議では全職員が全児の様子を把握し共通認識するように伝えあい、教育・保育に反映させていました。</p> <p>(2) 各保育室で落ち着いて正しい姿勢で食事ができるように環境を整えていました。保育教諭は丁寧に食事援助ができるように、子どものそばに座って一緒に食事をしていました。個々の状況に配慮し、食べる量を調節し完食できる喜びに繋げています。当番活動では、各年齢に合った方法で、配膳や片付け、清掃等、基本的な生活習慣につながるよう配慮がなされていました。また、食育計画に基づき、食育に関する掲示をして、子どもの興味関心が広がるように工夫をしたり、野菜の栽培、収穫をクッキング活動に展開できるようにしていました。</p>		

### 健康・保健面での取り組み

毎朝、園児の顔色や機嫌、表情や動きなどを丁寧に見て、健康状態を確認している。日頃から保護者に家庭での様子を聞くよう心掛け、気になることがあった時は、全教諭で情報を共有している。また、定期的に（月1回）子どもの身長・体重を計測し記録している。

感染症対策としては「手洗い、うがい、顔洗い」「あ・い・う・べ体操」等を励行。与薬は「依頼票」を書いてもらい、ダブルチェックで服用させて間違いを防止している。

「あ・い・う・べ体操」について  
 福岡市の「みらいクリニック院長」 内科医 今井一彰先生が考案 <https://mirai-iryuu.com/>

次の4つの動作を順にくり返します。声は出しても出さなくてもかまいません。（口呼吸から鼻呼吸へ）

- (1) 「あ」と口を大きく開く
  - (2) 「い」と口を大きく横に広げる
  - (3) 「う」と口を強く前に突き出す
  - (4) 「べ」と舌を突き出して下に伸ばす
- (1)～(4)を1セットとし、1日30セットを目安に毎日続けます

食育に対する取り組み
<p>おいしく食べるにはお腹がすくリズムが大切である。</p> <p>日中はよく体を動かし、夜はしっかり眠ること。そして、友達と一緒に、同じものを楽しく食べる時間の共有を大切に、教諭は食への関心や興味を誘う言葉かけを心掛けている。</p> <p>また、園の畑で野菜を作り、観察・収穫する体験と、実際に調理して食べる経験で、「自分で育てた野菜は美味しい。」と感じたり、食べ物に感謝する気持ちを育てている。</p> <p>近年、食物アレルギーのある子が増えているので、園内研修で情報を全教諭が共有し、食物アレルギーへの対応・訓練も行っている。</p>

IV-2 子どもの生活と発達	第三者評価結果
IV-2-(3) 健康及び安全の実施体制	
62 IV-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	㊤・b・c
63 IV-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 主治医の「診断書」のもと、アレルギー食の対応、除去を法人の調理師、保護者、担任で確認し合っています。また、職員全体で把握できるよう職員室に「アレルギーのある園児」の写真を掲示しています。</p> <p>除去食対応園児には、毎月「献立表」のチェックを法人の調理師、主幹保育教諭、担任、保護者で確認しています。また、その日の体調チェックを担当が行い、保護者に確認しています。アレルギー食の「調理・配膳の手順」に従い、除去食は、他児と違う食器に配膳し、担任が園児のそばで食べています。アレルギーに関しては、本人また他児にも「命にかかわること」と説明し、配慮しています。</p> <p>(2) 「給食衛生マニュアル」を作成し、法人のリーダー調理師と主幹保育教諭を中心に日々衛生管理に取り組んでいます。『大量調理施設衛生管理マニュアル（最新版 平成29年6月16日）』が要求する「従事者等の衛生管理点検表（11項目）」や中心温度計の校正状況を確認しました。</p> <p>同一メニューを1回300食を超えて大量に提供する厨房に拡大しています。市内の給食業者にて、異物混入の報道がありました。現在、実施されている異物混入対策の青い手袋の使用等、見える化し、さらに食の安心・安全を伝える活動を期待致します。</p>	

#### IV-3 保護者に対する支援

IV-3-(1) 家庭との緊密な連携	第三者評価結果
64 IV-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	㊤・b・c
65 IV-3-(1)-② 家庭と子どもの教育・保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	㊤・b・c
66 IV-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	㊤・b・c
67 IV-3-(1)-④ 虐待に対応できる園内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	㊤・b・c

〈コメント〉

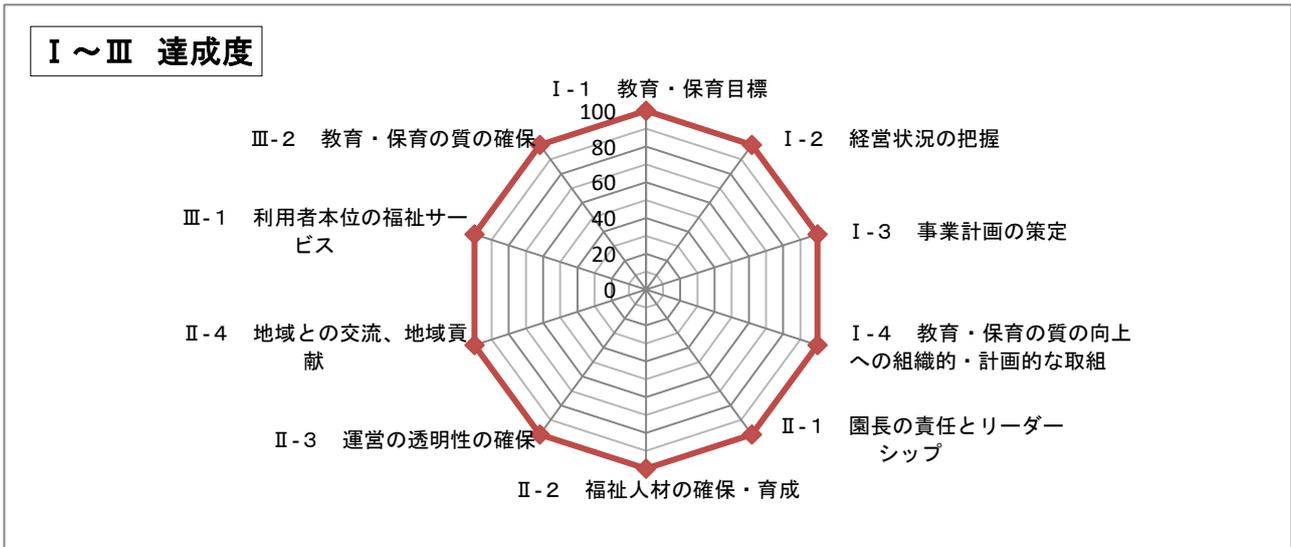
- (1) 個人面談、生活アンケート調査から、家庭での喫食状況を把握し、その都度食育に関する話題を取り上げ、給食内容や日々の個別食事援助に反映させていました。毎日の給食内容は展示し、個々の食事の様子を伝えています。食育だよりには給食レシピや食に関する情報を掲載し、食育について積極的に保護者啓発をしていました。親子参加(希望者)のカレーパーティやムーチー作りを開催し、一緒に食べながら食事の様子を知っていただく機会を設けていました。
- (2) 年3回の保育参観・参加及び個別面談や、クラス懇談会を実施していました。さらに家庭との連携を深め、一人ひとりに寄り添った子育て支援をしていくために、日々の送迎時での対応はきめ細かく行うことを大切にしていました。個別の相談、要望などを把握、きめ細かく記録に残して、職員間で情報の共有を図っていました。
- (3) 『虐待防止マニュアル』は全職員に周知していました。送迎時親子の様子を観察し、必要がある場合は各々の職員がチェックリストを活用し、早期対応を心掛け、担任、主幹保育教諭、副園長、園長が個別対応や相談を行う等のシステムを構築していました。

添 付

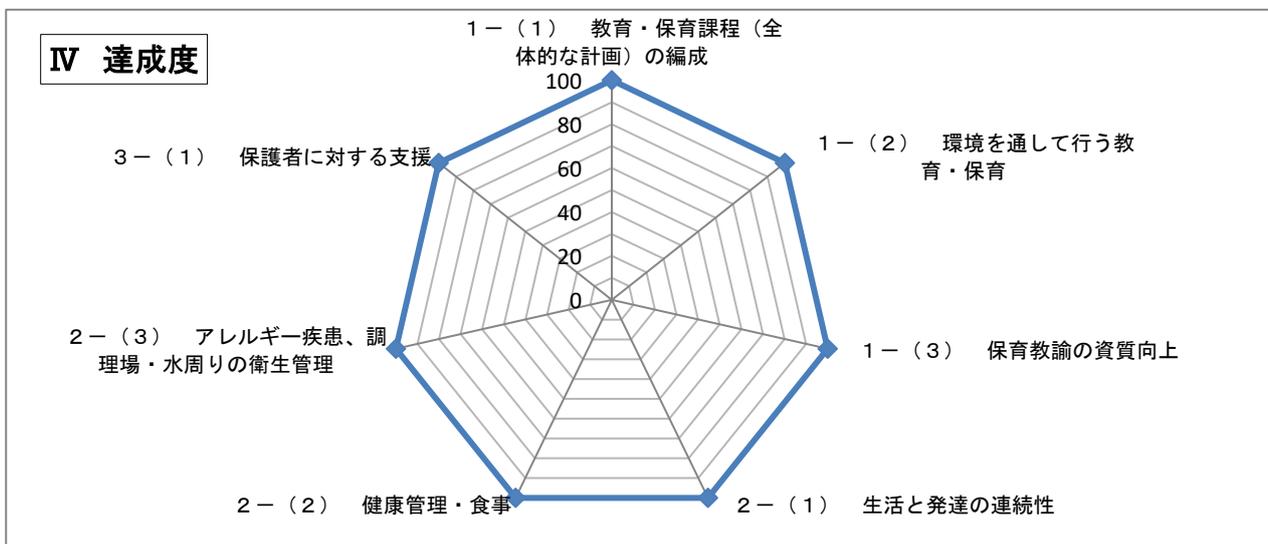
- ① 基準に対する達成度グラフ
- ② 訪問調査当日 12/3 (火) の計画書
- ③ 段取り表
- ④ 2019年9月実施の護者アンケート結果 園全体

以 上

I～III章 園の運営管理 基準への達成度	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
I-1 教育・保育目標	6	6	100.0
I-2 経営状況の把握	8	8	100.0
I-3 事業計画の策定	15	15	100.0
I-4 教育・保育の質の向上への組織的・計画的な取組	9	9	100.0
II-1 園長の責任とリーダーシップ	17	17	100.0
II-2 福祉人材の確保・育成	38	38	100.0
II-3 運営の透明性の確保	9	9	100.0
II-4 地域との交流、地域貢献	14	14	100.0
III-1 利用者本位の福祉サービス	61	61	100.0
III-2 教育・保育の質の確保	30	30	100.0



IV章 教育・保育実践 基準への達成度	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
1-(1) 教育・保育課程(全体的な計画)の編成	17	17	100.0
1-(2) 環境を通して行う教育・保育	44	44	100.0
1-(3) 保育教諭の資質向上	4	4	100.0
2-(1) 生活と発達の連続性	23	23	100.0
2-(2) 健康管理・食事	27	27	100.0
2-(3) アレルギー疾患、調理場・水周りの衛生管理	9	9	100.0
3-(1) 保護者に対する支援	25	25	100.0



基準に対する達成度グラフ

# さつきこども園 饒平名 志子 園長殿

いつもお世話になります。訪問調査 12月3日(火)の段取りをご送付致します。当日名で伺います。

「全体的な計画」、「指導計画」、「月案」等が当日いつでも見れるようにご手配お願い申し上げます。

## 訪問調査計画書

- ポイント (1) 評価基準65項目に沿った活動がどのように実施されているか?  
 (2) 業務は標準化されているか、改善は進んでいるか?  
 (3) 客観性(マニュアル、記録、掲示、習慣)は確保されているか?

2回目	<b>2019年12月3日(火)</b>	
評価員	リーダ 吉山 浩 (HF05-1-0098)	江木 朋子 (HF18-1-003)
9:30	ご挨拶 ①弊社より自己紹介、進め方の説明 ②園長より園の概要説明、強みの説明 ③園内見学	
10:00	I章 基本方針と組織(9項目) II章 組織の運営管理(16項目) III章1 利用者本位の福祉サービス(12項目) 及び 食の担当(60番、62番、63番)からのヒアリング(衛生管理マニュアルの確認を含む)	III章2 保育の質の確保(6項目) IV章 教育・保育の内容(22項目)【教育・保育状況観察含む】 対象外 乳児対象項目: 45番、46番 除く: 食の担当さんからのヒアリング(60番、62番、63番)
11:50		
昼食	園児と同じ給食を頂きます (当日現金で2人分お支払いします)	
午後	(上記の続き)	(上記の続き)
14:50	評価員2名で打合わせ (*どこか打合用スペースをお願いします)	
15:10	最終会議 (本日の結果のご説明)	

15:30

評価員プロフィール : 吉山浩は、キャリア15年のベテランの評価者、江木朋子は元京都市の保育所の所長

注) 1-力を入れて取組んでいる点、2-食育の取組みは、当日朝に2部お渡し下さい。

☆ 教育・保育目標、方針、遵守すべき法令名5個が職員に周知徹底されているか、全職員に筆記テスト

当日子ども中心の対応でOK ①終了予定時間15:30頃 ②適宜、休憩時間を取ります ③当日9:20頃伺います

# さつきこども園（2回目受審）段取表 定年まで勤務したい組織へ進化のプロセス

3園合同 段取打合 6/19（火） AM9:30-11:00 於：Jこども園	*第1回 勉強会 自己評価サポート (90分程度) 講師：江木朋子	保護者アンケート (配布～回収 14日)	*第2回 勉強会 自己評価サポート (90分程度) 講師：江木朋子	自己評価 弊社へ メール添付 で送付	訪問調査2人 江木・吉山 *子供と共に昼食 ◎全職員に教育保育 目標等を筆記テスト	是正確認 (書類) (7日以内)	報告書 (案) 送付	園より市へ 報告・ HPで 結果公開
	9/10（火） 午後1:30~3:00	配付 世帯 (兄)	回収 80% 以上	弊社へ 郵送	11/15（金）	12/3（火） AM9:30~15:30	12/13	12/13

3園合同段取打合 6/19（火） AM9:30~11:00 於：Jこども園様



訪問調査 12/3（火）園長、副園長、主幹保育教諭、調理師（法人から理事長等）ONE TEM 対応



# さつきこども園 園全体 アンケート 結果 1

2019年9月 総世帯数 104世帯 回収98/配布104 回収率 94.2%

I 認定こども園の理念・方針 について							
1	認定こども園の理念・方針をご存じですか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		⑤	④	3	2	1	
		よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	
		21	55	11	10	1	0
2	問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方 その理念や方針は賛同できるものだと思いますか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		5	4	3	2	1	
		賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	
		61	14	0	0	0	1
3	問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方 日頃の教育・保育は、その理念や方針と一致していますか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		5	4	3	2	1	
		一致している	まあ一致している	どちらともいえない	あまり一致していない	一致していない	
		49	24	1	1	0	1

# さつきこども園 園全体 アンケート 結果 2

2019年9月 総世帯数 104世帯

回収98/配布104 回収率 94.2%



No.	質 問	保護者さまの回答（人）				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>Ⅱ 入園する時の状況</b>						
4	見学は快く受け入れてくれましたか。	62	6	0	29	1
5	入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったですか。	83	11	2	2	0
6	入園時に、個別の面接はありましたか。	94	1	1	2	0
7	お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか。	91	6	0	1	0
8	園の理念や方針、こども園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか。	89	8	0	1	0
9	費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか。	90	6	2	0	0
10	入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか。	90	4	4	0	0
<b>Ⅲ 年間の教育・保育や行事</b>						
11	年間の教育・保育や行事について、十分な説明がありますか。	94	4	0	0	0
12	年間の教育・保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。	78	12	0	8	0
<b>Ⅳ 「遊び」について</b>						
13	園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。	90	7	1	0	0
14	園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。	85	7	0	6	0
15	お子さんの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか。	82	7	0	9	0
16	自然に触れたり地域に関わるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。	82	12	1	3	0
17	遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。	95	2	0	1	0
18	遊びを通じて物を大切にする心や、思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。	86	5	0	7	0

# さつきこども園 園全体 アンケート 結果 2

2019年9月 総世帯数 104世帯

回収98/配布104 回収率 94.2%



No.	質 問	保護者さまの回答 (人)				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>V 「生活」 について</b>						
19	昼寝や休息は、お子さんの状況にお応じた対応がされていると思いますか。	82	8	0	8	0
20	お子さんの体調について、常に心配りされていると思いますか。	89	7	0	2	0
21	献立表や給食の展示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていますか。	93	2	2	1	0
22	給食のメニューは充実していると思いますか。	83	13	1	1	0
23	お子さんは給食を楽しんでいると思いますか。	86	9	1	2	0
24	一人一人に適した量や、その日の体調に合わせた調理方法等の配慮がなされていると思いますか。	73	12	0	13	0
25	食事への配慮が必要な場合(アレルギー等)、保護者との十分な連携がとれていると思いますか。	78	6	0	13	1
<b>VI 快適さ や 安全対策</b>						
26	園舎・園庭などの施設・環境に満足していますか。	79	18	1	0	0
27	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっていますか。	93	4	0	0	1
28	衛生管理や感染症対策は適切に行われていると思いますか。	82	14	0	2	0
29	お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。	1	1	86	10	0
30	園庭は安全に遊べる場所になっていますか。	90	7	1	0	0
31	避難訓練や災害への対策は適切に行われていると思いますか。	91	3	0	4	0

# さつきこども園 園全体 アンケート 結果 2

2019年9月 総世帯数 104世帯

回収98/配布104 回収率 94.2%



No.	質 問	保護者さまの回答 (人)				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>VII 園と保護者との連携・交流</b>						
32	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会は十分だと思いますか。	78	18	0	1	1
33	園だよりや掲示(クラスのお知らせや写真)などにより、園の様子や行事について十分な情報提供がありますか。	93	5	0	0	0
34	園の行事の開催日や時間帯は、保護者が参加しやすいように配慮がされていますか。	87	11	0	0	0
35	登園時やお迎え時に、お子さんの様子についての確認・説明がありますか。	78	15	3	1	1
36	子育てに関する気がかりな点や悩み等について、気軽に個別相談ができますか。	85	12	1	0	0
37	開園時間内であれば、急な残業や不定期な業務に対して柔軟に対応してくれますか。	81	4	0	13	0
38	安心メールなどにより、緊急時の連絡体制はきちんととれていますか。	89	5	2	2	0
<b>VIII 教諭の対応</b>						
39	あなたのお子さんは園の生活を楽しんでいると思いますか。	91	6	0	1	0
40	担当教諭はお子さんの良いところや個性を認めていますか。	91	5	0	2	0
41	教諭の教育・保育姿勢や対応はだいたい同じ(ばらつきが少ない)ですか。	85	6	3	4	0
42	園長や教諭に対して不満や要望を気軽に言うことができますか。	73	12	6	6	1
43	不満や要望には的確に応えてくれますか。	80	7	0	9	2
44	教育・保育中の急な発熱や病気、事故等に対して、責任を持って適切に対応していますか。	89	5	0	4	0
45	アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮は、十分なされていますか。	81	7	0	9	1

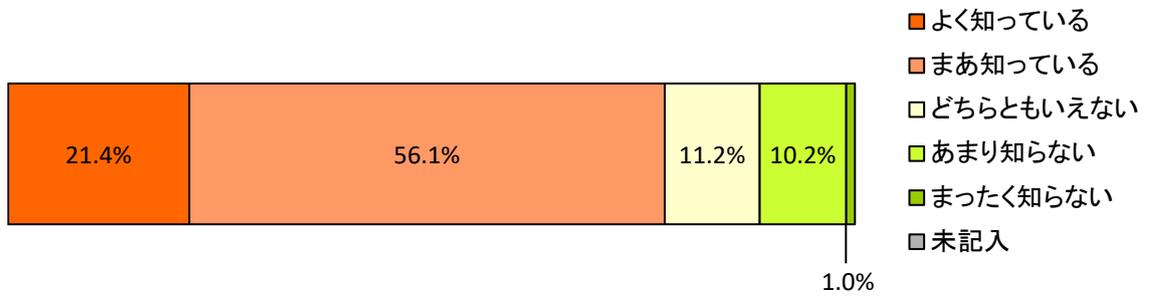
さつきこども園 園全体 アンケート 結果 3

Ⅸ 総合満足度						
5段階評価 ⇒ 4.8		保護者様の回答（上段：人 下段：%）				
		⑤	④	③	②	①
		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
回答数	93 未記入5	78	15	0	0	0
		83.9%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%

# さつきこども園 園全体 アンケート 結果 グラフ1

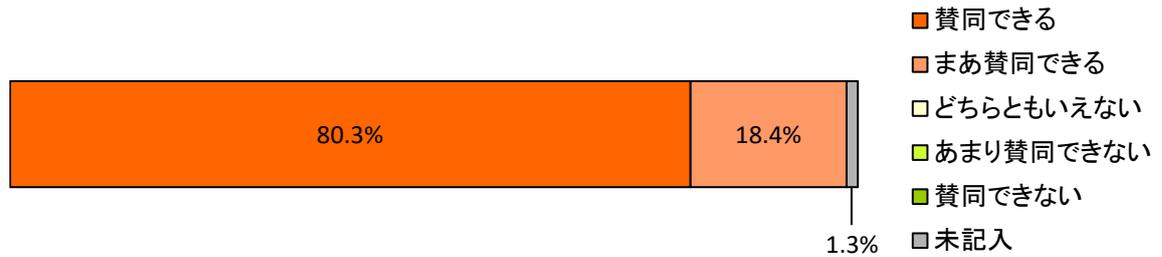
## 【 I 認定こども園の理念・方針について】

1, 認定こども園の理念・方針をご存じですか。

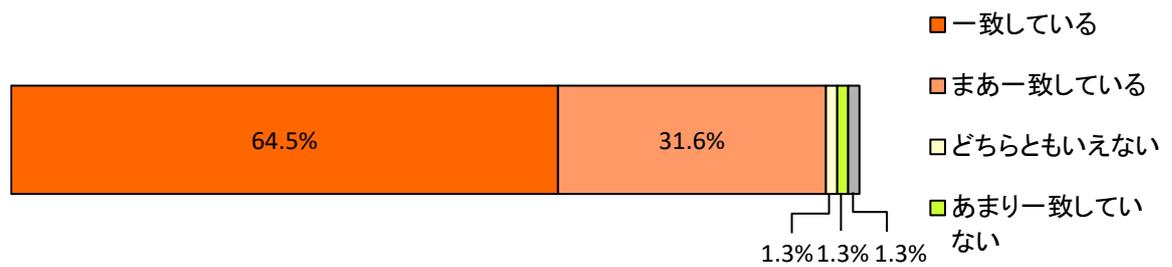


「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方

2, その理念や方針は賛同できるものだと思いますか？



3, 日頃の教育・保育は、その理念や方針と一致していますか。

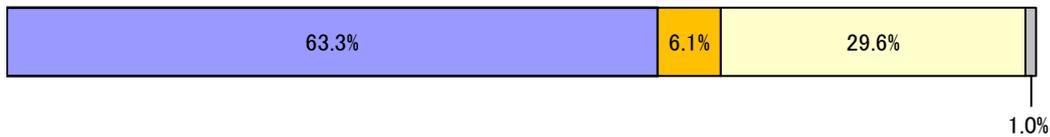


## さつきこども園 園全体 アンケート結果 グラフ 2

はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【Ⅱ 入園する時の状況】

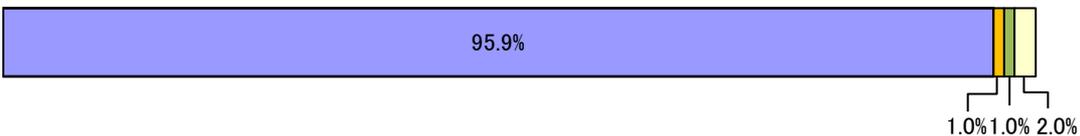
4, 見学は快く受け入れてくれましたか。



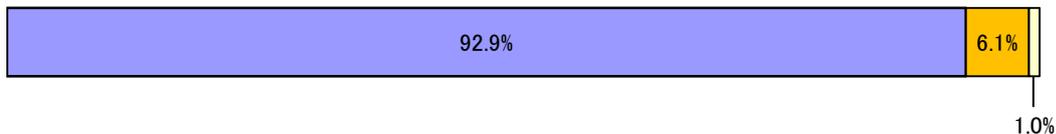
5, 入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったですか。



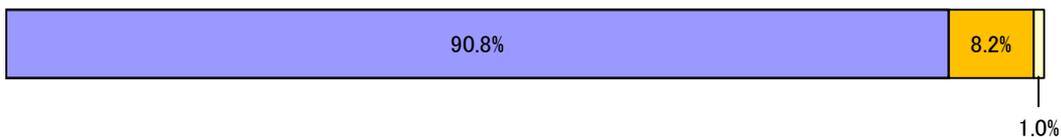
6, 入園時に、個別の面接はありましたか。



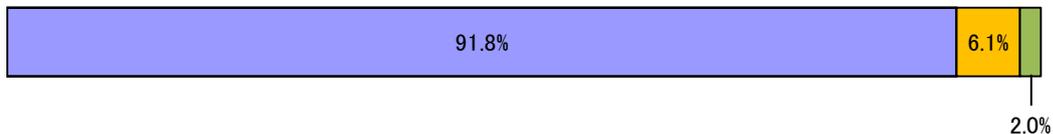
7, お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか。



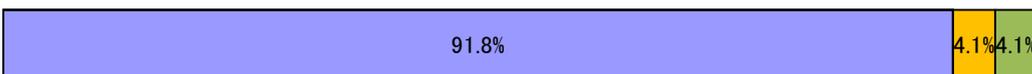
8, 園の理念や方針、こども園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか。



9, 費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか。



10, 入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか。



さつきこども園 園全体 アンケート結果 グラフ 3

はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

**【Ⅲ 年間の教育・保育や行事】**

11, 年間の教育・保育や行事について、十分な説明がありますか。

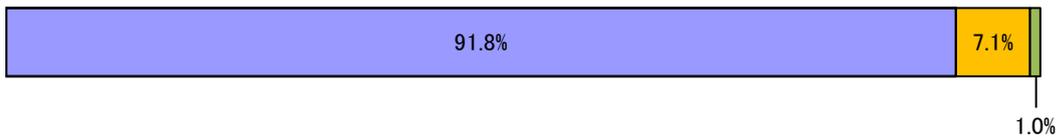


12, 年間の教育・保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。



**【Ⅳ 「遊び」 について】**

13, 園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。



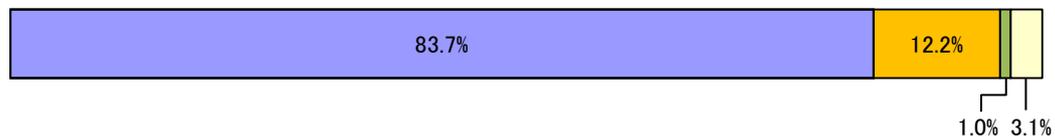
14, 園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。



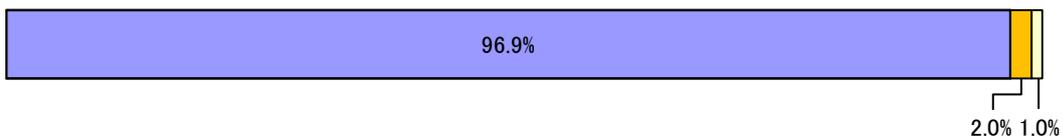
15, お子さんの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか。



16, 自然に触れたり地域に関わるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。



17, 遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。



18, 遊びを通じて物を大切にする心や、思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。



## さつきこども園 園全体 アンケート 結果 グラフ 4

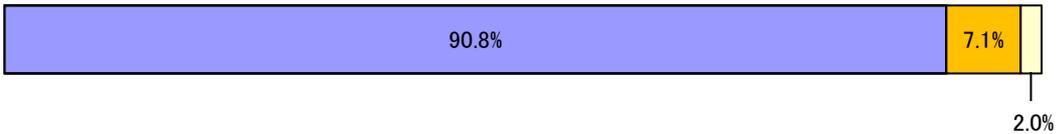
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【V 「生活」 について】

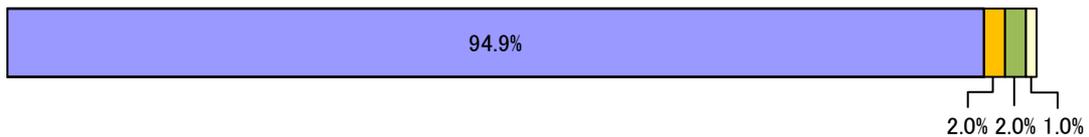
19. 昼寝や休息は、お子さんの状況にお応じた対応がされていると思いますか。



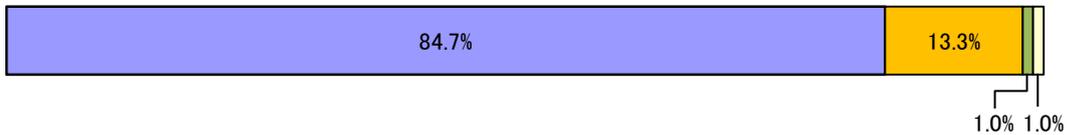
20. お子さんの体調について、常に心配りされていると思いますか。



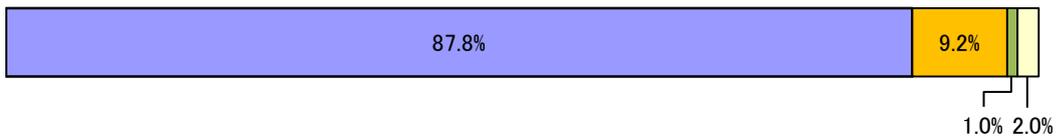
21. 献立表や給食の展示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていきますか。



22. 給食のメニューは充実していると思いますか。



23. お子さんは給食を楽しんでいると思いますか。



24. 一人一人に適した量や、その日の体調に合わせた調理方法等の配慮がなされていると思いますか。



25. 食事への配慮が必要な場合(アレルギー等)、保護者との十分な連携がとれていると思いますか。



さつきこども園 園全体 アンケート結果 グラフ 5

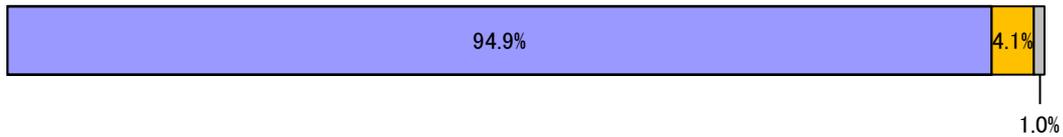
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

【VI 快適さ や 安全対策】

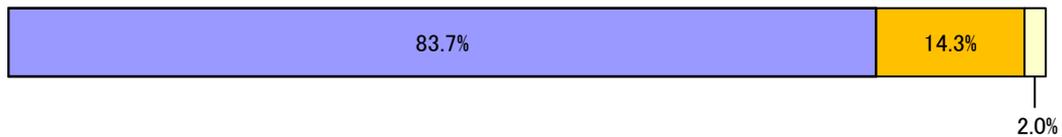
26, 園舎・園庭などの施設・環境に満足していますか。



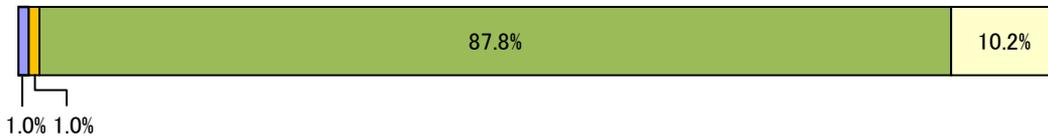
27, お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっていますか。



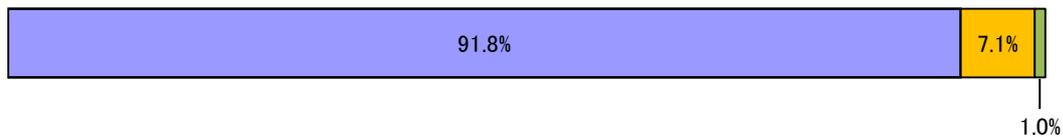
28, 衛生管理や感染症対策は適切に行われていると思いますか。



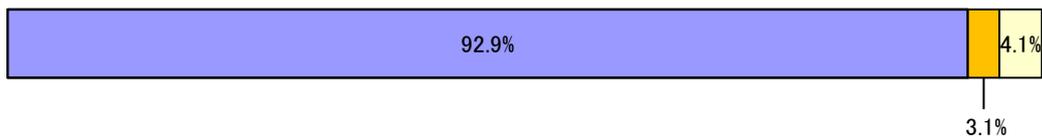
29, お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。



30, 園庭は安全に遊べる場所になっていますか。



31, 避難訓練や災害への対策は適切に行われていると思いますか。



さつきこども園 園全体 アンケート結果 グラフ 6

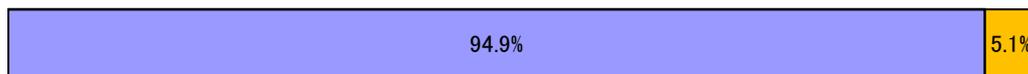
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

【Ⅶ 園と保護者との連携・交流】

32, 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会は十分だと思いますか。



33, 園だよりや掲示(クラスのお知らせや写真)などにより、園の様子や行事について十分な情報提供



34, 園の行事の開催日や時間帯は、保護者が参加しやすいように配慮がされていますか。



35, 登園時やお迎え時に、お子さんの様子についての確認・説明がありますか。



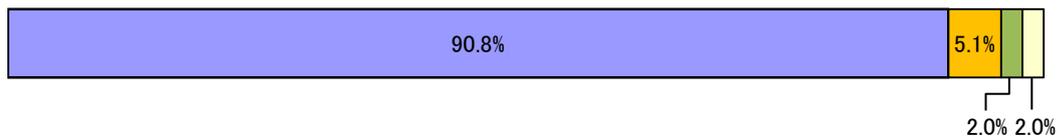
36, 子育てに関する気がかりな点や悩み等について、気軽に個別相談ができますか。



37, 開園時間内であれば、急な残業や不定期な業務に対して柔軟に対応してくれますか。



38, 安心メールなどにより、緊急時の連絡体制はきちんととれていますか。

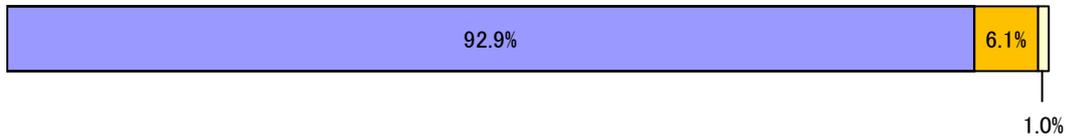


## さつきこども園 園全体 アンケート結果 グラフ 7

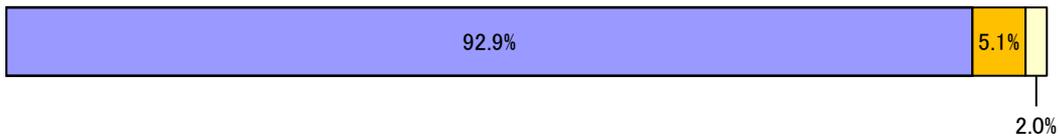
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【Ⅷ 教諭の対応】

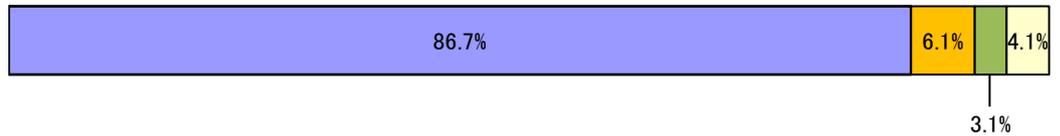
39, あなたのお子さんは園の生活を楽んでいると思いますか。



40, 担当教諭はお子さんの良いところや個性を認めていますか。



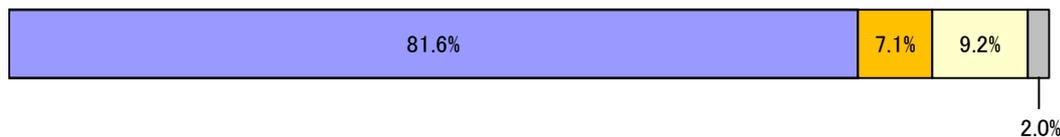
41, 教諭の教育・保育姿勢や対応はだいたい同じ(ばらつきが少ない)ですか。



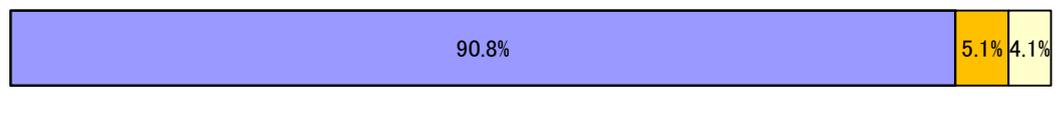
42, 園長や教諭に対して不満や要望を気軽に言うことができますか。



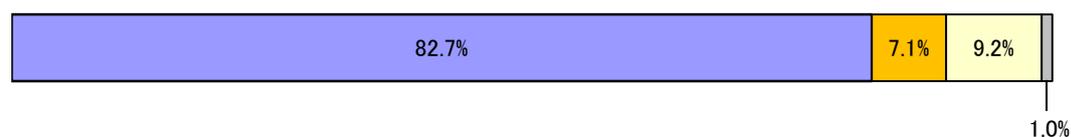
43, 不満や要望には的確に応えてくれますか。



44, 教育・保育中の急な発熱や病気、事故等に対して、責任を持って適切に対応していますか。



45, アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮は、十分なされていると思いますか。



### 【Ⅸ 総合満足度】 5段階評価 4.8

満足
  やや満足
  どちらともいえない
  やや不満
  不満

